



短歌



孫子らが戻った後に愚痴こぼす
妻の矛先この我に向く
北野津 宮本 末秋

堂々のパラリンピックの入場に
難民団は笑顔を見せて
吉本 高橋 澄子

夏草の茂みの中に空蟬の
生きた証か七日の夢よ
西野津 古崎スエノ

わが庭に訪れ来たる小さき秋
彼岸の花の愛しけり
南鹿野 尾崎 京子

四年後の東京五輪それまでも
吾は此の世に永ら得るやら
吉本 橋村 正之

脊椎を病みて点滴受けながら
子規の生涯TVで観る
西上宮 村内 一誠

ゆつたりと塀に寝そべる野良猫の
樹木の蔭に涼風す
西野津 古崎 栄子

讚美歌に心洗われゆく我に
一刷の雲秋を告げゆく
桜ヶ丘 宮崎敬四郎

俳句

涼風や役目終えたか麦藁帽
今はちよこんと土間の片隅
上鹿島 前村 俊子

遠花火音に見向けば無の視界
北野津 宮本 末秋

長崎の葡萄友より届けけり
吉本 高橋 澄子

台風のそれで誕生娘と祝う
西野津 古崎スエノ

厳しさの暑さの中に秋の風
南鹿野 尾崎 京子

焼き秋刀魚旬の旨みの舌鳴らす
西野津 古崎 栄子

赤とんぼ屋根より高く空をゆく
町 香山菊童子

大粒の雨かけぬける稲田道
町 香山セツ子

鮎くれし友へはなむけ弔辞読む
西上宮 村内 一誠

白露や我も梢のひと滴
桜ヶ丘 宮崎敬四郎

新涼や友の安否を気遣えり
桜ヶ丘 吉田 照子

珠数を手に感謝のひと日台風逃れ
桜ヶ丘 宮崎トシ子

この暑さもう少よと歌う虫
上鹿島 前村 俊子

AI(Ⅱ)追跡捜査(5月編集)※後編

法道寺 本田 花風

記事をつくりいただきました。
「米国の人工知能学会で聞いた
ジョークがあります。車が登場した
とき、馬たちが『馬車のほかに仕事は
あるよね』と話していたけど、結局な
くて、馬は減ったという話です。人間
の場合はやることはなくならないと
考えたくなるけど、昔は馬もそうい
う話をしていたというオチです。」
人類誕生の起源は明白ではない
ようですが、〇〇〇億万年以来人間
が自然界と共存してきた永い永い
人類の歴史が、アインシュタインも
想像だにできなかったであろう危うい
時代に直面したその時、貴方はどう
しますか？
「AIで社会が便利になるのには
賛成だが、人間がどこかでAIのプ
レーキを握っておく必要がある」と
生命未来研究(FLEI)の米国の研
究者は語っている。
しかし米国の発明家レイ・カーツ
ワイル氏はAIが人間を超える「シ
ンギュラティ(特異点)」が2045
年に来るとの予想を唱えるが、す
でに人間を上回っている分野もある。
後期高齢者はそこまで心配するこ
ともないであろうが、その進歩のス
ピードは計り知れないだけに全く
無関係と言ってはおられない。あな
たはどうしますか、機械があなたに
命令したら!!
5月15日、AI特集番組、この日
AIはもう己程度の認識では計り
知れない次元に至っていることを思
い知らされる。AIメッセージの終
焉である。

生前退位

吉本 橋村 正之

慎み深い天皇が
お言葉選びつ述べられた
生前退位の御意向に
陛下の御苦衷そちのけ
やれ憲法がどうか
皇室典範どうか
議論ばかりが先に立ち
陛下の健康そちのけ
本末転倒甚し
陛下も生身のお体よ
八十路の坂を越えてなお
御公務果さるお姿は
正直言つて痛々し
あつてはならぬ事なれど
過労でお倒れなつたなら
議論ばかりのあなた方
揃つてお腹召されるか
考える事自明の理
陛下のお体最優先

投稿いただきました作品は、短歌・
俳句それぞれ一句とします。必要な
場合は、ルビを付けてください。
また、確認のためお電話すること
もありますので、連絡先の記入をお
願います。

立神峡だより

氷川っ子の宿泊通学を実施しました

今年も元気いっぱいの氷川っ子が立神峡の里地屋敷において、宿泊通学を体験しました。8月31日から9月16日に
かけて、町内3つの小学校ごとに2泊3日で行った今回の宿泊体験は、昔の生活の大変さやお父さんお母さんの大変
さ、友達の大切さを実感し、普段は使う機会の少ないのこぎりやナタなどの使い方を習得する体験など盛りだくさん
の内容となっております。

到着後は、里地屋敷のルールに従い、まず山に燃料となる木や枝を探しに入りました。山の中は危険がいっぱいで
すが、指導のもと山歩きについて学びました。

次に、班ごとに分かれ、氷川の河原で集めた火打石体験や、着火方法を学び、かまどでの料理体験、羽釜による御
飯作り、五右衛門風呂の風呂沸かしなどの体験をしました。何から何まで初めての経験ばかりで、悪戦苦闘の連続で
したが、子どもたちは一生懸命に取り組んでいました。また、全体的にも濃い内容で、終了する頃には、子供達の目の
色が輝き、生き生きとしているのが分かりました。

今回の宿泊通学体験を通して、子どもたちが「友達の大切さ」「親の大切さ」「感謝する心」を学んでくれることが何
よりも大切なことです。未来を担う氷川っ子に、地域が一丸となり育み成長してもらうための基礎作りがここ里地屋敷
で形成されることになれば、管理者として有意義な宿泊通学体験が実施できたと思います。



▲指導の下、山歩きを体験



▲羽釜で初めての炊飯、美味しく出来るかな？

水難事故、今年も「0」を達成!

平成27年4月より指定管理者を指定されて以来、一年半が経過しましたが、今年も昨年に引き続き無事故を達成す
ることが出来ました。関係各位の努力は勿論のことですが、警察の方にも大変お世話になりました。

しかし、中には、救命設備の浮き輪を流したり、栓を抜きわざと救護処置を不可能にする行為、救命ボートを水中深
く沈めたり、信じられない行為がまかり通っています。また、断崖絶壁の下には落石の予防のブイを設置して入るにも
関わらず無視して侵入する人など、様々な要素の中で事故が無かったことは、大変良かったと思いますが、このような
行為は皆さまが安全に楽しんで頂くためにも、絶対にやめていただきたいと思います。

毎年事故が起きていた立神峡のイメージを早く払拭するために、行政と一体となった取り組みを今後も継続して
いきますので、皆さまのご理解とご協力のほどよろしくお願いします。

【お問い合わせ先】立神峡公園管理棟

☎ 62-1543 FAX62-1546(8:30~17:30 火曜定休日)

ホームページアドレス

<http://tategami-camp.com>